



## 平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名(株)アルバック

コード番号 6728 URL <http://www.ulvac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小日向 久治

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 広報・IR室長 (氏名) 臼見 隆行

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

TEL 0467-89-2033

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	133,913	16.5	11,210	275.7	12,299	354.5	9,743	—
25年6月期第3四半期	114,976	△26.8	2,983	—	2,706	—	415	—

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 12,415百万円 (81.5%) 25年6月期第3四半期 6,841百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	189.46	136.56
25年6月期第3四半期	0.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	243,085	—	71,584	—	—	27.6
25年6月期	243,289	—	59,436	—	—	22.7

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 66,981百万円 25年6月期 55,317百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	—	—	0.00	0.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	7.1	11,500	88.1	12,500	99.6	10,000	—	192.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下のとおりであります。

除外 3社 (社名 日本リライアンス(株)、ULVAC AUTOMATION TAIWAN Inc.、(株)RAS)

第2四半期連結会計期間において、日本リライアンス(株)の株式を売却したことにより、同社及びULVAC AUTOMATION TAIWAN Inc.並びに(株)RASは連結の範囲から除外し、日本リライアンス(株)、ULVAC AUTOMATION TAIWAN Inc.の2社は、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期3Q	49,355,938 株	25年6月期	49,355,938 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年6月期3Q	9,292 株	25年6月期	9,260 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期3Q	49,346,660 株	25年6月期3Q	49,346,692 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) A種種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	—	—	0.00	0.00
26年6月期	—	—	—		
26年6月期(予想)				350,000.00	350,000.00

(注) 平成26年6月期期末配当金は、当社定款に定められた累積条項に従い、平成25年6月期の配当額525百万円と平成26年6月期の配当額525百万円とを合わせた総額1,050百万円の優先配当を行う予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成25年第3四半期 連結累計期間	平成26年第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	124,867	125,722	0.7%
売上高	114,976	133,913	16.5%
営業利益	2,983	11,210	275.7%
経常利益	2,706	12,299	354.5%
四半期純利益	415	9,743	—%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き輸出が横ばいで推移しているものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響で個人消費や生産が増加するとともに、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかに回復してまいりました。米国では、住宅着工の伸びが鈍化しているなど一部に弱い動きが見られるものの、個人消費の伸びが拡大したことや輸出が拡大したことなどから景気は緩やかに回復してまいりました。欧州では、失業率が依然として高水準にあるものの、一部地域で低下するなど景気に持ち直しの動きが見られてきました。中国では、消費が堅調に増加しているものの、輸出の伸びや設備投資の伸びがやや低下するなど、一部に弱い動きも見られてまいりました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場では、大型液晶ディスプレイの設備投資は中国を中心に行われましたが、大型テレビ市場の低迷により、慎重な動きが続いておりました。また、スマートフォン、タブレットPCなどのモバイル端末市場は堅調に推移したものの、次世代ディスプレイの有機EL関連や中小型液晶ディスプレイ関連の設備投資は一部で慎重な動きが見られました。半導体市場は、モバイル端末向けの市場回復に加え、サーバー需要などの増加により、モバイルDRAM、NANDフラッシュメモリやロジック関連の設備投資が順調に推移いたしました。自動車市場では、エコカーなどの販売が好調なことから、カーエレクトロニクス製品をはじめとする自動車部品向けの設備投資が堅調に推移いたしました。

当社グループは、このような状況において、事業構造改革を引き続き推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、受注高1,257億22百万円(前年同四半期比8億55百万円(0.7%)増)、売上高1,339億13百万円(同189億37百万円(16.5%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益112億10百万円(同82億27百万円(275.7%)増)、経常利益122億99百万円(同95億93百万円(354.5%)増)、四半期純利益につきましては、97億43百万円(同93億28百万円(2,245.0%)増)となりました。

当社グループは、引き続き「事業構造改革プラン」を着実に実行するとともに、利益体質の更なる強化を図り「中期経営計画」の達成に努めてまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## 「真空機器事業」

(単位：百万円)

	平成25年第3四半期 連結累計期間	平成26年第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	99,127	100,657	1.5%
売上高	88,294	107,319	21.5%
営業利益	2,111	8,172	287.2%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりであります。

## (FPD及びPV製造装置)

FPD(フラットパネルディスプレイ)関連では、売上高は、中国、日本、韓国向けに中小型液晶ディスプレイ製造装置、中国向けに大型液晶ディスプレイ製造装置や有機EL製造装置などが寄与し、前年同期比で増加いたしました。受注高は、日本、韓国向けに中小型液晶ディスプレイ製造装置、台湾、中国向けに大型液晶ディスプレイ製造装置の受注をいたしました。前年同期比で減少いたしました。

## (半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連では、モバイルDRAM、NANDフラッシュメモリ用スパッタリング装置や自然酸化膜除去装置、電子部品関連では、パワー半導体やモバイル端末向け高性能デバイス用スパッタリング装置などの受注が堅調に推移し、受注高・売上高とも前年同期比で増加いたしました。

## (コンポーネント)

コンポーネント関連では、分析装置や自動車関連の設備投資が堅調だったことに加え、半導体製造装置向けの受注が好調でしたが、市況に一服感がみられ、真空ポンプや計測器の受注・売上が減速してまいりました。小型真空ポンプ関連は医療機器関連や分析機器、実装関連向けが好調に推移いたしました。クライオポンプはFPD製造装置向けが堅調に推移したものの、エレクトロニクス関連が低迷いたしました。

## (一般産業用装置)

一般産業用装置関連では、主に自動車部品用真空熱処理炉、ヘリウムリークテスト装置や高性能磁石用真空熱処理炉、医薬品用凍結真空乾燥装置などが寄与し、受注高が前年同期比で増加いたしました。

その結果、真空機器事業の受注高は1,006億57百万円、受注残高は556億51百万円、売上高は1,073億19百万円となり、81億72百万円の営業利益となりました。

## 「真空応用事業」

(単位：百万円)

	平成25年第3四半期 連結累計期間	平成26年第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	25,740	25,065	△2.6%
売上高	26,683	26,594	△0.3%
営業利益	795	2,989	276.1%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりであります。

## (材料)

スパッタリングターゲット関連は、主に日本、韓国などの主要パネルメーカーから液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを受注いたしました。取引の見直しや稼働状況の影響を受け、受注高が前年同期比で減少いたしました。

(その他)

分析機器関連では、日本の民間企業向けや欧米の大学向けを中心に堅調に推移いたしました。マスクブランク  
ス関連では、スマートフォンやタブレットPCの好調を受け、引き続き堅調に推移いたしました。

その結果、真空応用事業の受注高は250億65百万円、受注残高は78億80百万円、売上高は265億94百万円とな  
り、29億89百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、2億4百万円減少となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金が73億30百  
万円減少したこと、たな卸資産が66億29百万円減少したこと、一方で、現金及び預金が147億32百万円増加し  
たことなどです。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、123億52百万円減少となりました。主な内容は、短期借入金が70億83百万円減少  
したこと、前受金が24億64百万円減少したこと、受注損失引当金が28億80百万円減少したこと、長期借入金  
が12億38百万円減少したこと、退職給付引当金が16億99百万円減少したこと、一方で、支払手形及び買掛金  
が34億43百万円増加したことなどです。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、121億48百万円増加となりました。主な内容は、利益剰余金が96億80百万円増加  
したこと、その他の包括利益累計額が19億84百万円増加したことなどです。

### ② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少、たな卸資産の減少、仕入債務の増加などのプ  
ラス要因に対し、前受金の減少、受注損失引当金の減少などのマイナス要因により、250億56百万円の収入と  
なりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、24億89百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少、長期借入金の減少などにより、85億68百万円の支出となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比  
べ、146億24百万円増加し、588億28百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

FPD製造装置関連を中心に上期弱含みだった受注に回復の動きがでてきているものの、想定比遅延していること  
等から売上高予想を1,750億円に修正いたしました。上記売上高予想の下方修正の影響が第4四半期に一時的に強く  
表れると見込まれるものの、第3四半期連結累計期間の実績等を踏まえ、営業利益、経常利益、当期純利益の各々  
予想値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成26年5月14日)公表いたしました「連結業績予想及び配当予想の修正に関する  
お知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,603	59,334
受取手形及び売掛金	59,525	52,195
商品及び製品	4,740	3,798
仕掛品	28,548	24,103
原材料及び貯蔵品	10,640	9,398
繰延税金資産	1,471	1,903
その他	4,606	6,617
貸倒引当金	△564	△459
流動資産合計	153,569	156,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,093	39,009
機械装置及び運搬具(純額)	16,369	14,152
工具、器具及び備品(純額)	1,723	1,439
土地	9,513	8,563
リース資産(純額)	545	487
建設仮勘定	2,565	4,635
有形固定資産合計	71,808	68,285
無形固定資産		
のれん	89	—
リース資産	150	114
ソフトウェア	1,437	1,169
その他	3,703	3,710
無形固定資産合計	5,379	4,993
投資その他の資産		
投資有価証券	3,882	4,155
差入保証金	1,804	1,909
繰延税金資産	2,204	2,115
その他	4,722	4,768
貸倒引当金	△78	△28
投資その他の資産合計	12,534	12,919
固定資産合計	89,720	86,197
資産合計	243,289	243,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,651	32,094
短期借入金	82,750	75,667
リース債務	653	320
未払法人税等	776	1,647
前受金	13,872	11,408
繰延税金負債	170	197
賞与引当金	1,051	2,045
役員賞与引当金	235	154
製品保証引当金	1,864	1,808
受注損失引当金	3,261	382
その他	10,778	8,968
流動負債合計	144,061	134,690
固定負債		
社債	20	10
長期借入金	23,358	22,120
リース債務	759	601
繰延税金負債	1,431	1,871
退職給付引当金	12,057	10,358
役員退職慰労引当金	786	658
資産除去債務	337	339
その他	1,044	855
固定負債合計	39,792	36,812
負債合計	183,853	171,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	37,100	37,100
利益剰余金	△2,966	6,714
自己株式	△10	△10
株主資本合計	54,998	64,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	356
為替換算調整勘定	△13	1,948
その他の包括利益累計額合計	320	2,304
少数株主持分	4,119	4,603
純資産合計	59,436	71,584
負債純資産合計	243,289	243,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	114,976	133,913
売上原価	88,625	100,062
売上総利益	26,351	33,851
販売費及び一般管理費	23,368	22,641
営業利益	2,983	11,210
営業外収益		
受取利息	122	140
受取配当金	151	244
受取手数料	102	107
受取賃貸料	94	221
為替差益	632	516
スクラップ売却益	87	888
その他	842	783
営業外収益合計	2,030	2,899
営業外費用		
支払利息	1,199	963
持分法による投資損失	13	83
その他	1,095	765
営業外費用合計	2,307	1,810
経常利益	2,706	12,299
特別利益		
関係会社株式売却益	—	838
補助金収入	91	—
固定資産売却益	92	48
その他	4	145
特別利益合計	187	1,030
特別損失		
固定資産売却損	97	—
関係会社株式評価損	145	—
関係会社株式売却損	155	—
関係会社出資金評価損	91	—
災害による損失	—	256
その他	231	85
特別損失合計	719	341
税金等調整前四半期純利益	2,174	12,989
法人税、住民税及び事業税	1,499	2,580
法人税等調整額	△82	126
法人税等合計	1,417	2,706
少数株主損益調整前四半期純利益	757	10,283
少数株主利益	342	540
四半期純利益	415	9,743

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	757	10,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	242	21
為替換算調整勘定	5,851	2,093
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	18
その他の包括利益合計	6,084	2,132
四半期包括利益	6,841	12,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,072	11,727
少数株主に係る四半期包括利益	769	688

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,174	12,989
減価償却費	6,063	5,439
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△466	△150
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,197	1,025
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△203	△440
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△49	21
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△4	4
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,448	△2,833
受取利息及び受取配当金	△273	△384
支払利息	1,199	963
売上債権の増減額(△は増加)	6,517	7,083
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,326	5,924
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,352	3,811
前受金の増減額(△は減少)	△1,077	△2,731
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,228	△335
その他	281	△3,479
小計	13,660	26,909
利息及び配当金の受取額	269	371
利息の支払額	△1,182	△950
特別退職金の支払額	△4,855	—
法人税等の支払額	△1,674	△1,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,217	25,056
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△228	△559
定期預金の払戻による収入	164	471
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,616	△4,254
有形及び無形固定資産の売却による収入	204	969
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	867
関係会社株式の取得による支出	△123	—
関係会社株式の売却による収入	399	—
その他	396	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,803	△2,489
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,099	△3,898
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	△10,000	—
長期借入れによる収入	9,200	7,769
長期借入金の返済による支出	△13,397	△11,593
株式の発行による収入	15,000	—
配当金の支払額	△1	△0
その他	△1,648	△846
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,254	△8,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,738	625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,406	14,624
現金及び現金同等物の期首残高	28,180	44,204
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	175	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,761	58,828

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	88,294	26,683	114,976	—	114,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,166	1,160	2,326	(2,326)	—
計	89,459	27,843	117,302	(2,326)	114,976
セグメント利益	2,111	795	2,905	78	2,983

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	107,319	26,594	133,913	—	133,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,334	993	2,327	(2,327)	—
計	108,653	27,587	136,240	(2,327)	133,913
セグメント利益	8,172	2,989	11,161	49	11,210

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## a. 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
真空機器事業	111,486	121.4
真空応用事業	26,637	99.6
合計	138,123	116.5

- (注) 1. 金額は、販売価格をもって表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## b. 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
真空機器事業	100,657	101.5	55,651	81.7
真空応用事業	25,065	97.4	7,880	81.1
合計	125,722	100.7	63,532	81.6

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## c. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
真空機器事業	107,319	121.5
真空応用事業	26,594	99.7
合計	133,913	116.5

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
FPD及びPV製造装置	50,676	47.2
半導体及び電子部品製造装置	20,787	19.4
コンポーネント	18,361	17.1
一般産業用装置	17,495	16.3
計	107,319	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
材料	10,324	38.8
その他	16,270	61.2
計	26,594	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。